

2学期のスタート

長かった夏休みが終わりました。先日の大雨で被害を受けられたご家庭には心よりお見舞い申し上げます。

2学期は、修学旅行・合唱コンクール・探究発表会等の行事、授業の充実・生徒会新体制発足・研究発表会実施等、学びの多い学期です。

2学期の始業式では、私から以下の2点を話しました。（概略）

○1学期以上にいろいろなことにチャレンジを！

3年生：進路実現に向けた時期。だからこそ、視野を広げる心のゆとりを。やっていることに集中できる力が、これからの進路に生きてくる。

2年生：学校の核となる自負を。様々な場面で、リーダーの役割を求められる。自分からやってみようという姿勢が、大きな成長につながる。

1年生：学校に慣れて様々なことが見えてくる。この2学期にどんな意識を持つのかで、2年生3年生での成長に大きな差が出てくる。

○気の利いた附中生たれ！特に挨拶と掃除を頑張ろう

石原同窓会会長は、多くの方と掃除をすることで様々な学びを得たと仰る。高校の進路指導担当者は、掃除を頑張る学年は、進路実績がよいと仰る。自分のため人のために、挨拶と掃除を頑張ろう。

また、各学年代表のやる気溢れる2学期の抱負を紹介します。（一部省略）

【1年2組 橋口由奈】

私は、濃ゆかった1学期の附中ライフを振り返り、2学期の目標を立てました。

1学期の体育大会では、クラスみんなで勝利を目指し、作戦を立てる際は納得がいくまで何度何度も話し合い、みんなで声をかけ合いながら練習をしました。その結果、クラスの団結力が上がったのは、言うまでもありません。また、響き合い学習で私たちのクラスは熊本城に行くことにしました。クラスの仲をさらに深めるために企画した熊本城ミッションでは、班対抗で取り組みました。昼食や思い出の品を購入することにしていた城彩苑では、お金の使い方をチームごとに話し合いながら決めるなど、楽しみつつも、他者意識を持ちなが仲を深めることができました。このような充実した1学期に身につけた力で、私は2学期の目標を、「何事にも全力で頑張ること」に

しました。その中でも、2学期には大きな行事が3つあるのでそこに全力を注ぐことを目標にします。

1つ目は、写生大会です。今回の一年生のテーマは、「面白い形や色を発見し、自分なりに絵で表現しよう」です。この大会で賞を取るために、1学期に習った影のつけ方や、遠近感に気をつけながら描こうと思います。

2つ目は、同じく10月に行われる合唱コンクールです。合唱コンクール金賞を取れるように、これからも練習を重ねていこうと思います。体育大会の時と同様、納得がいくまで何度も何度も話し合い、みんなで最高の合唱を目指し、全力を出し切れた結果、金賞を取れると嬉しいです。

3つ目は、駅伝大会です。この大会でも、クラス全員で頑張るという雰囲気を作っていきたいなと思いました。1年2組は、明るくて優しいクラスなので、誰かが失敗して悲しいことがあっても、誰かが励ましてくれて、たくさん挑戦ができ、全力で取り組んで成長できると思います。

体育大会のときに、「勝負の神は細部に宿る」と竹財先生がおっしゃっていました。これは、勝負事には目の前のことだけでなく、靴箱をきれいにしたり、大きな声で挨拶をしたり、そういう細かいところにまで、気を配れる人に、神様が微笑んでくれるという意味なのかなと思います。2学期もこの言葉や、1学期に学んだこと、クラスで身につけた団結力を生かし、いろいろなことに挑戦して、自分としてもクラスとしても、もっと成長していきたいなと思います。

【2年2組 西嶋冴恵】

1学期を振り返り成長した事や課題を整理する事で2学期を有意義に、また新たに成長できる期間にしたいと思います。

まず私が1年生の時に比べて成長できたことは様々なことに挑戦できるようになったことです。私は1年生の時、何かに自分から積極的に動くことができず、目の前に変わるチャンスがあっても、自分のような人間がなれるものじゃないと関心すら持とうとしていませんでした。しかし2年生になり、小さなことでも、成長に繋がりそうだなと思えることに、新しい一歩を踏み出すことができるようになりました。それはまるで、新品のノートを開いた時に、字を丁寧に書くような、清々しく明るい感覚でした。具体的には、体育大会の学年種目において、八の字の回し手になったことです。回し手という立場は縄を飛ぶ人のペースに合うよう縄を回さないといけないという技術面での難しさに加え、リーダーとして皆の気持ちを把握しまとめていかなければな

りませんでした。何度も話し合ったり、意見を聞いて回ったりと、ギリギリまで苦労があったことを覚えています。本番ではその成果もあり、メンバー全員で楽しく飛ぶことができたのではないかと思います。「ありがとう！」や「ごめん！」と互いを思いやる言葉が沢山聞こえて、クラスにとっても良い経験でした。

次に、ルールメイキングのメンバーに加入したことです。定期的にランチミーティングに参加したりするなどの経験から、生徒が主体的に動き、より良い学校に変えていこうとする姿に新しい刺激を受け、今の学校を新たな視点で見る良い機会となりました。

このように、自主的に活動に参加することが増えることによって、格段に学べるものが増えたと感じています。その上、私はこれまでよりも人と接する機会が増え、様々な立場を経験することができたのです。これは確かに、2年生になって変化したことです。またこれ以外にも課活動や授業などで自身の意見を発表する場面が増えました。これは、2年生という今後学校を引っ張っていく立場になる自分にとって、重要なことだと思っています。

ところで皆さんは「一隅を照らす」という言葉を覚えているでしょうか。今自分の置かれている立場から、大きなことも初めは小さなことから始めることで、やがていろんな人との縁で繋がり大きなことになっていく。これは、みずあかりの講演会で石原さんがおっしゃっていた言葉です。私の成長も、思い返してみると、それに通じるものがあったと感じます。

これらのことから学んだもう一つのこととして「人に感謝すること」が挙げられます。クラスメイトや先生方、先輩方、後輩と関わり、協力し合う時、自分ひとりの力の小ささを感じると同時に、仲間がいると力が二倍にも三倍にもなった気がしました。仲間って、自分を成長させてくれるんだなと改めて感じました。また、学校で学びを得ることができたのも、常に自分を支えてくれる家族の協力の上にあることに他なりません。

新しい人と関わっていくには少し勇気があるかもしれませんが、新しい人達との縁を広げていくことは自らの成長につながるのだと思います。2学期は2年生にとって大事な行事がたくさんあります。修学旅行の班では、きっと寝食をともにすることで出てくる友達の新しい一面を知ることになると思います。この縁を大切に、その縁が広がりを見せる2学期にしていきたいと思っています。

【3年2組 岡倫太郎】

1学期は体育大会があり、私はリーダー会に立候補しました。そこで私は「自分から動くことが周りを動かすことにつながる」と学びました。あのよう大きな集団の前に立つことは始めてだったので緊張しましたが、とても良い経験となりました。しかし、今日この場に臨み、とても緊張しています。

今日から心機一転の2学期が始まります。そこで私は、2つの目標を立てました。

「自分をコントロールする」、「先入観を捨てる」です。

まず、1つ目の「自分をコントロールする」について。これから3年生は受験などで忙しくなり、疲れなどが溜まってくると思います。その時につい無理をしてしまって体調を崩したり、逆に自分に対して甘えすぎて結果がついてこなかったりすることもあると思います。そのため、自分の体調と精神と向き合い、コントロールすることが大切になってくると思います。「受験は団体戦」とも言います。自分が自分自身をしっかりとコントロールし、明るく・健やかな過ごし方をみんなに見せることで、周りの友達に良い影響を与えていきたいと思っています。

次に、2つ目の「先入観を捨てる」です。先入観とは初めに知ったことに基づいて作られた固定的な観念のことを言います。私は、何かやってみようとする時、この先入観が頭の中にあって、あきらめてしまうことがあります。これは自分自身が勝手に作った妄想なのです。このような考えに陥ってしまうと、挑戦することに抵抗感が出てきてしまうかもしれません。だから、とりあえずやってみる。そして、できなかったらまた努力をする。このトライ＆エラーを、日々の学習や合唱コンクールなど様々な行事の中で繰り返していきたいと思っています。

このように私は、「自分をコントロールする」「先入観を捨てる」の2つの目標を掲げました。これらの目標を達成し、充実した2学期を過ごし、卒業まで3年2組での思い出も作っていききたいと思っています。

体育大会優勝カップを新調

昭和51年卒業生の皆様から、同窓会での浄財をもとに、生徒たちのため形に残るものとして、体育大会の優勝カップを寄贈いただきました。

始業式で生徒に紹介し、早速、教室に飾っています。

昭和51年卒業生の皆様、ありがとうございました！



取っ手がとれ老朽化した優勝カップ



寄贈いただいた優勝カップ

